



洞峰公園、県の特別委員会で「市への無償譲渡は妥当」と決定

グランピング等に周辺住民が反対

茨城県は県立洞峰公園の維持管理費縮減のため、パークPFI事業者と契約し、グランピング、バーベキュー場、ドッグランなどの整備を進めようとしていました。しかし、県の開催した説明会などで周辺住民から反対の声が多く上がり、五十嵐市長が見直しを求めました。

これに対し、大井川知事は「要望に応える考えはない。市が引き受けるなら移管する」と回答。記者会見でも「県の計画通り進めるか、つくば市に無償譲渡するかである」と発言。

これを受けて五十嵐市長は市議会全員協議会で説明し、無償譲渡を受ける方向で県に回答しました。現在は譲渡に向けて修繕などを進めています。



修繕工事中の体育館・プール棟

つくば市への無償譲渡を承認へ

9月25日の第3回委員会では、県の強引な事業の進め方が問題だがつくば市への無償譲渡は認める、との結論が出たため、大井川知事は27日の記者会見で「12月の定例会で譲与手続きを進める」と表明しました。

今回の教訓は、県も事業を検討する際は、地域住民との丁寧な対話が必要であるということです。つくば市では移管後に洞峰公園のあり方について話し合う協議会を設置すること。まちづくりへの市民参加をさらに進めるきっかけになればと思います。

一方、洞峰公園を普段利用しないつくば市民の方からは「身近な市の公園や施設の修繕すら出来ていないのに、洞峰公園の維持管理を市がすべきでない」という声もあります。そこで、洞峰公園の移管問題をきっかけに、つくば市議会にスポーツ施設調査特別委員会が設置され、調査が行われています。

つくば市議会と連携し、洞峰公園だけでなく、つくば市全体の公園やスポーツ施設が適切に修繕や管理がされるよう働きかけていきます。

市民アンケート11/30まで!

つくば市による、洞峰公園の無償譲渡に関する市民アンケートが11/30まで行われています。回答方法はWEBから、またはアンケート用紙を主要な公園の管理事務所や各交流センターで配布、回収しています。これまでの資料もWEBで見られます。ぜひ、市民の声を届けましょう!!



つくば市HP
市民アンケートの
実施について

これまでの経緯

調査特別委員会の資料より抜粋・加筆

- 2021年8～9月 県が洞峰公園の指定管理者・パークPFI事業者を一括公募
- 11月 事業者選定結果を発表(応募は1者のみ)
- 2022年3月 新事業者によるオープンハウス説明会を開催
- 4月 新事業者による洞峰公園運営を開始
- 4～5月 **周辺住民が不安や懸念を表す要望書を県に提出**
- 7～8月 県主催で説明会及び記述式アンケートを実施
- 9月 つくば市以外の県民にインターネットによる選択式アンケートを実施
- 10月 県が説明会やアンケート結果を踏まえて、事業計画を一部見直し
- 11月 市が県へPFI事業の中止、代替案としての利用料金の値上げ、協議会設置の要望提出
- 12月 **県が市へ、値上げ及び協議会設置とも採用しない、市が自ら公園を管理する意向があれば市へ無償譲渡すると回答**
- 2023/1/13 知事会見「今月いっぱいをめどにつくば市から何らかの回答をいただけるようお願いしている」
- 1/27 近隣のマンション管理組合から県へ「移管は問題解決に向けた素晴らしい提案であり、移管に向けた交渉を市と進めてほしい」旨の要望書提出
- 2/14 つくば市議会全員協議会において、市長が「譲渡を受ける方向で県と協議していく」旨を表明
- 2/16 **市が県へ「無償譲渡に向け正式に協議を開始していただきたい」と回答**
- 3月 県議会で土木部長より「市への移管手続きを進める」旨の説明
- 6月 市議会全員協議会において、移管を受けた場合の維持管理費・修繕費や7月中旬に市民説明会を実施することを市執行部が説明
- 7月 市が「洞峰公園の無償譲渡に関する説明会」を開催
- 7/31 **県議会臨時会で「県有施設・県出資団体等調査特別委員会」を設置**
- 8/3 第1回委員会 洞峰公園のつくば市への無償移管が重点調査項目に決定
- 8/30 第2回委員会 洞峰公園の経緯を審査、結論出す
- 9/13 委員会が洞峰公園を現地調査、つくば市から説明受け意見交換
- 9/25 第3回委員会 論点について説明を受け、無償譲渡を全会一致で承認
- 9/27 **知事会見「12月の県議会に都市公園条例の改正案を提出し、来年1月を目処に譲渡、移管をしたい」**



県の特別委員会が洞峰公園を視察

県議会が特別委員会で調査

そんな中、7月31日に急遽、臨時県議会が開催され、「県有施設・県出資団体等調査特別委員会」を設置。その重点調査項目として洞峰公園の無償譲渡問題があがりました。

8月30日の第2回委員会では、パークPFIの進め方や市への無償譲渡について問題視する意見が相次ぎ、結論が出ず。9月13日には委員会として洞峰公園を現地調査し、市からこれまでの経緯の説明を受け、「現場を見て良かった。狭いエリアでグランピング、バーベキューと、ボタンのかけ違いがあったのだろう」「パークPFIが無償譲渡かという二者択一にしてしまった県の進め方に問題があった」など様々な意見が出ました。



牛久沼、越水の原因は地盤沈下… 堤防高上げ、連絡体制の強化へ

6月2～3日の大雨により牛久沼で発生した越水被害について、茨城県は「牛久沼越水対策検討委員会」を設置し、越水発生要因を調査して、総合的な対策を検討することになりました。

第1回委員会が8月7日に開催され、牛久沼に接するつくば市、龍ヶ崎市、取手市、つくばみらい市、牛久市の5市がオブザーバー参加。今回の災害の状況や土嚢設置などの対応状況、通常の牛久沼の水位の管理方法、八間堰工事の状況について確認。11月2日の第2回委員会では、県が行った測量の結果、今回越水した3カ所を含む計6カ所で堤防が計画高水位の7.50mに対して68～29cm地盤沈下していたと報告。今後、12月の第3回委員会で

堤防かさ上げなどのハード対策や連絡体制強化などのソフト対策をまとめる予定です。

なお、当面の水害対策として、森の里等の越水箇所には大型の土嚢が設置されています。また、牛久沼の暫定基準水位を4段階に設定し、水位が上がったら県の竜ヶ崎工事事務所から市町村にメール配信することになりました。

牛久沼の水位管理の要である八間堰の工事は、片方のゲートを機能させながら、もう片方に新しいゲートを付ける工事を再開しました。また、9月の県議会では、国の水位計しかなかった牛久沼に、県独自の水位計や監視カメラを設置する補正予算案が提案され、可決しました。

八間堰工事の早期完了と、牛久沼への水位計・監視カメラの早期設置とともに、検討委員会の議論によって、県・隣接5市と土地改良区で牛久沼の防災に関する協力体制が構築されるよう、引き続き求めていきます。



水門の工事を再開した牛久沼の八間堰

谷田部地区、莚崎地区の区長会で 活動報告&意見交換を行いました

■区長会谷田部支部「市長・県議を囲む懇談会」

8月5日(土) 10:00～12:00 市民ホールやたべ会議室
区長会からの要望事項について市長・県議より状況説明、意見交換しました。

【出された主な意見】

国道・県道の除草・改良工事・横断歩道設置要望、洞峰公園、高校不足問題、市営住宅の入居基準、耕作放棄地問題、等

■莚崎地区区会連合会「県議会議員活動報告会」

9月2日(土) 13:30～16:25 莚崎交流センター大会議室

【出された主な意見】

牛久沼の越水問題、高齢化問題、避難行動要支援者、空き家対策、高校が遠い、ヤングケアラー、不登校、みんなの食堂、等

県議会議員として初めてこのような意見交換会に出席し、地域の貴重なお話を聞くことができました。今後の活動に生かしていきます。ありがとうございました。

少子化対策の特別委員会で 大学生が参考人として発言!

「誰もが輝く持続可能な茨城を担う人づくり調査特別委員会」の委員として、若者世代の意見を聞くことを提案し、9月20日の委員会で実現しました。

常磐大学法律行政学科の吉田勉教授とゼミの学生4人が参考人として出席。学生自身が行った学生向けアンケートと未婚者へのヒアリング、そこから導き出された政策提案がありました。

【提言内容】

- ・物価高の抑制、市場価格の調整・管理
- ・学費支援
- ・就労支援や賃上げ
- ・現行の支援を若い世代が知る機会を増やす
- ・結婚や子育てについて話し合う/考える機会・内容の充実
- ・育児休業などの制度の充実と、性別問わず取得しやすい職場環境づくりの推進

10月16日の委員会では、この提言を反映した意見が追加されました。12月の定例会に最終報告が提出される予定です。

防災環境産業委員会で質問した項目

- ・(仮称)新産業廃棄物最終処分場(日立市)設計における豪雨対策について
- ・地球温暖化対策の取組状況
- ・福島原発事故のALPS処理された汚染水の海洋放出により、トリチウム以外の放射性核種を長期間放出する影響について
- ・東海第二原発の放射能拡散シミュレーションの公表が遅れている理由と今後のスケジュール
- ・アンモニアサプライチェーン構築の現状と課題

質問と答弁の
詳細はこちら↓

